その人らしさを捉える

ふとした表情やしぐさには、その人らしさがにじみ出る。
身近な人を観察し、絵や立体で表現してみよう。

全国の生徒作品を見てみよう。

目標

- 身近な人のもつ雰囲気を、表情やしぐさなどから捉え、材料や用具を工夫して表す。
- 身近な人を見つめ、感じ取ったことをもとに主題を見つけ、その人らしさを表現する構想を練る。
- 自分の見方や感じ方を大切にして、身近な人を表したり、作品を鑑賞したりする活動に楽しく取り組む。

鑑賞　これらの人の表情やしぐさから、どのような印象を受けるだろう。



子を抱く紫色の服を着た母
紙、パステル　71.8×56.5cm　1914年頃　**メアリー・カサット**［1844～1926 アメリカ］
カサットは「母子像の画家」とよばれ、親と子の生き生きとした姿を描いた。



ふざけっこ
ブロンズ
高さ99cm
1964年
宮城県美術館蔵
佐藤忠良
［1912～2011 宮城県出身］
撮影：上野則宏



ふざけっこのスケッチ
紙、鉛筆　24.5×35.1cm
1964年頃
宮城県美術館蔵
佐藤忠良
佐藤は「デッサンは目と心の体操」と語り、彫刻をつくる際には、モデルを何度もスケッチした。

表現　発想・構想

その人らしさを捉えて、スケッチしよう。

●友達らしさを探る



友達にさまざまな表情やポーズを取ってもらう。



●何度も見て、形を捉える



全体の形をおおまかに捉えてから、細部を描き込む。



生徒作品

悩む友達

紙、コンテ、アクリル

51.5×36.4cm

POINT

友達が悩んでいる様子を表現するために、表情、ポーズ、背景の描き方などに、どんな工夫をしているだろう。



生徒作品

休み時間　粘土　高さ16cm

作者の言葉

休み時間にくつろいでいるところを表しました。リラックスしている感じを出したかったので、足をくずしたポーズにしています。



生徒作品

吹奏楽部の先輩

紙、水彩

53.8×37.8cm

作者の言葉

吹奏楽部の練習で、チューバを演奏している先輩の姿が目に留まりました。楽器の輝きや映り込んでいる自分の姿も描いています。少しずつ色を塗り重ね、微妙な色合いを表現しました。